

あいちCALS・ITフェアの実施経緯

年度	項目	開催日	場所	参加者	主催	後援
15年度 2003	愛知県建設業協会 内覧会	7/31～8/1	愛知建設業会館	約500名	愛知県建設業協会	なし
16年度 2004	あいちCALS・ITフェア	9/16～17	愛知県産業貿易館	約1200名	名古屋建設事業サービス財団 愛知県建設業協会 名古屋建設業協会	愛知県 名古屋市 名古屋高速道路公社
17年度 2005	あいちCALS・ITフェア2005	9/7～9/8	名古屋市中小企業振興会館	約1700名	愛知県 名古屋市 名古屋高速道路公社 名古屋建設事業サービス財団 名古屋建設業協会 愛知県建設業協会	国土交通省中部地方整備局
	委員会正式発足	6/1			あいちCALS・IT実行委員会設立 愛知県、名古屋市、名古屋高速道路公社 名古屋建設事業サービス財団 愛知県建設業協会、名古屋建設業協会	
18年度 2006	あいちCALS・ITフェア2006 予定	9/7～9/8	名古屋市中小企業振興会館	約1200名	あいちCALS・IT実行委員会	国土交通省中部地方整備局 国土地理院(予定)
	CALSあいち創刊号	10月1日	小冊子発行		あいちCALS・IT実行委員会	あいち電子自治体推進協議会
19年度 2007	あいちCALS・ITフェア2007 予定	9/25～26	名古屋国際会議場	約1000名	あいちCALS・IT実行委員会	国土交通省中部地方整備局 あいち電子自治体推進協議会 協賛団体 4団体 協賛新聞 3社
	CALSあいち第2号	6月1日	小冊子発行		あいちCALS・IT実行委員会	

平成15年の初年度は愛知県建設業協会内覧会の形で、愛知県建設業協会主催で中部整備局などの講演を含め説明会、展示会を実施しました。その結果を踏まえ、国、県市町村のこれからCALSの動きや、それとかかわるソフト、サービス、ハードウェアの紹介を1度で行うフェアの必要性を感じ、あいちCALS・ITフェアを企画、開催することにしました。

しかしながら、フェア開催の予算を他の県と異なり愛知県、名古屋市、関連団体が持つていなかったので、「あいちCALS・ITフェア実行委員会」を設立し安価で効率的な手作のフェアの実現をめざしました。なを事務局は愛知県建設業協会内におきました。

①実行委員会の構成

愛知県、名古屋市
名古屋高速道路公社、(財)名古屋高速道路公社
(社)愛知県建設業協会、(社)名古屋市建設業協会

②実行委員会の役割

事前：企画書の確認、フェアへの積極的参画(講演への積極的参加)
当日：当日の受付、講演者フォロー、案内その他すべてを実行委員が実施。
講演する愛知県の職員自身が受付をしたり、案内をしたり、自ら動くことで安価で手作りのフェアを実施

終了後：決算確認、アンケート確認、反省会

③事務局の役割(愛知県建設業協会ITアドバイザー1名が実施)

広報連絡(新聞など)
後援依頼(国土交通省、国土地理院ほか)
講演依頼、講演時配布原稿入手と印刷
参加募集(業者への通知と参加申し込み受付)
案内(関連団体など)
会場設営(企画と業者手配)
展示会社募集と場所の調整、設置指示
パンフレットの作成と印刷依頼
全体がわかる企画書づくり
実施後のアンケート集計、反省会の実施

あいちCALS・ITフェア会場風景

愛知県による開催のあいさつ



来場者風景



展示ブース風景(機器、ソフト、サービス)



講演風景



名古屋市による基調講演



ベンダーセミナー



開催パンフレット(2005)

The poster features a large, blue-toned globe with a wireframe grid, set against a background of a bright blue sky with white clouds. The text is overlaid on the top half of the image. The main title 'あいち CALS·IT フェア 2005' is in large, bold, yellow and white letters. Below it, the dates '2005.9.7Wed 9.8Thu' and time '10:00~17:00' are in black. The venue '会場／名古屋市中小企業振興会館 (通称：吹上 第一・第二ファッション展示場)' is in white. A green rectangular box on the right contains the text '入場無料' in white. At the bottom, there are two rows of small black text with bullet points.

愛知県もいよいよ本年度より電子物品の適用範囲が拡大されるだけではなく、来年度からの電子入札の実現に向けてシステム開発に着手するとともに名古屋市においては本年10月から電子入札の一部適用に内け進んでおり、対象は建設業者のみならず一般業者も対象となります。このような状況において地方公共団体を含む各担当機関及び関連団体側向の情報を収集する場の必要性はますます高まっています。また建設業者がだけでなく行政に入札参加される一般業者も電子入札化についての対応が望まれます。これらを踏まえ、CALS/FC、IT、GISに関するソフトウェア、ハードウェア、取り組み状況、今後の方向性、推進事例などに関するセミナーを実施するイベントを企画するものです。

主 催	協 賛
愛知県 名古屋市	(財) 日本建設情報総合センター 中部センター (財) 建設情報異業会 (社) 日本土木工業協会中部支部 (社) 知愛県建設業研究会 (社) 建設コンサルタント協会 中部支部 (社) 日本建築耐震設楽協会中部支部 (社) 知愛電気協会 愛知県農業土木研究会 愛知県建設技術研究会 愛知県土木施工管理技術会 (株) 連通新聞社 (株) 日刊建設通訊新聞社 中部支社
後 援	
国土交通省 中部地方整備局 (予定)	
出展企業	
アサヒコンクリート (株) アサヒセメント (株) / 壱诚セメント (株) / (株) あかねカクストムズ (株) アライアックス (有) エーアンバー (株) (株) NTTアドウェイ 江戸川建設 (株) / 沢井セメント (株) / 沢井セメント (株) 三井ビルディング (株) 川崎テクノシステム (株) 岡崎セメント (株) / 岡崎セメント (株) (株) 関西システム (株) 稲葉システム (株) 稲葉総合サービス (株) コンピュータシステム研究所	(株) シーテック ジャパンネット (株) (株) センソル (株) ダイアックフロウウェア ダイナニア・リューションズ (株) 中京コンクリート (株) 中電エンジニアリング (株) 神国データバンク (株) テクノコンピュータ 桂川支店 (株) 电子納入総合研究所 東海ソフト (株) 東芝エレクトロニクス (株) / 産交エレクトロニクス (株) 日本コンピュータグラフィック (株)

